

社会資本整備から目指す！

県民一人ひとりのウェルビーイングの実現

WELL-BEING



【第五次】

山梨県社会資本整備重点計画

令和8年3月





第1章 計画の目的	1
1 計画策定の背景	1
2 計画の目的・期間及び関連計画	2
3 計画の想定事業量	3
第2章 本県の社会資本整備を取り巻く現状と課題	4
1 本県の地域特性	4
2 本県の現状と課題等	6
第3章 本県が目指すべき姿（基本理念）	13
1 基本理念	13
2 重点分野における「3つの柱」及び将来像	15
第4章 施策及び主な取組	21
始まる山梨【活力・成長】	23
守る山梨【防災・減災】	45
繋げる山梨【持続・スマート】	71
社会資本整備を効率的に進めるための施策	85
第5章 計画の進捗管理とフォローアップ	89
1 計画の進捗管理	89
2 フォローアップ	89
参考資料	90
	90



1 計画策定の背景

●山梨県社会資本整備重点計画の変遷

○ 第1次計画(計画期間:平成16年度～平成20年度)

・

○ 第2次計画(計画期間:平成20年度～平成26年度)

・

・

○ 第3次計画(計画期間:平成27年度～平成31年度(令和元年度))

・

・

○ 第4次計画(計画期間:令和2年度～令和9年度)

・

・



2 計画の目的・期間及び関連計画

●本県の上位計画

●本県の関連計画



●社会資本整備に関する国の計画

3 | 計画の想定事業量



1 本県の地域特性

(1) 地勢・自然

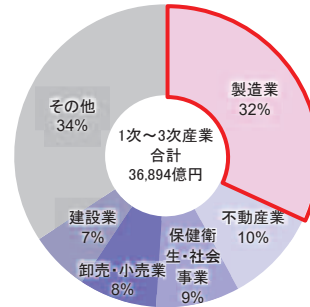


(2) 立地



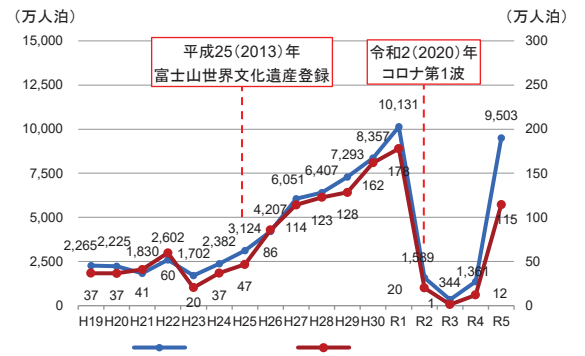


(3)産業・経済

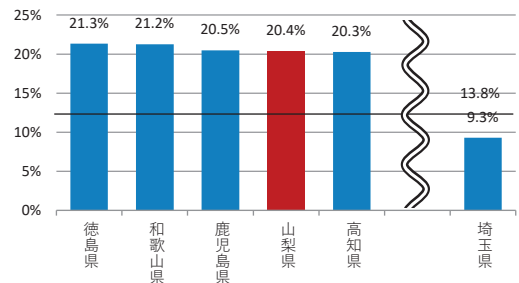
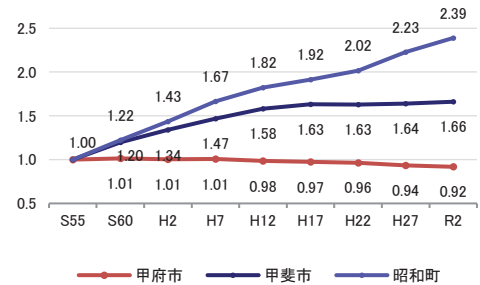
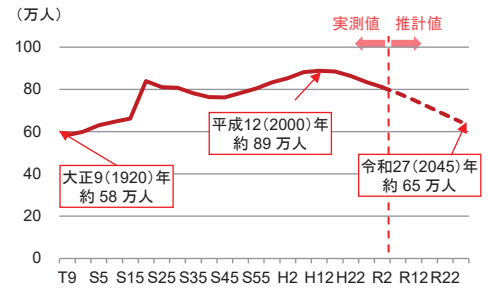


移出が大きい産業	県際収支
1 生産用機械	3,885
2 対個人サービス	1,544
3 電気機械	1,475
4 情報通信機器	1,116
5 飲食料品	801

出典：県民経済計算年報(令和4年度)



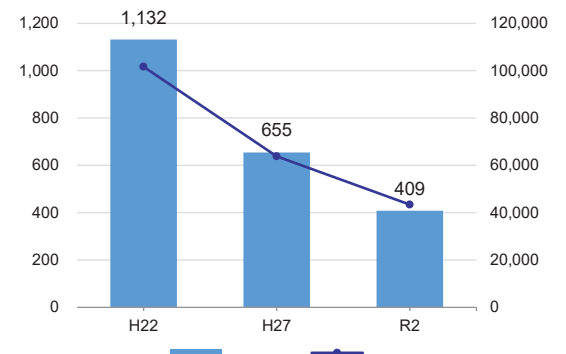
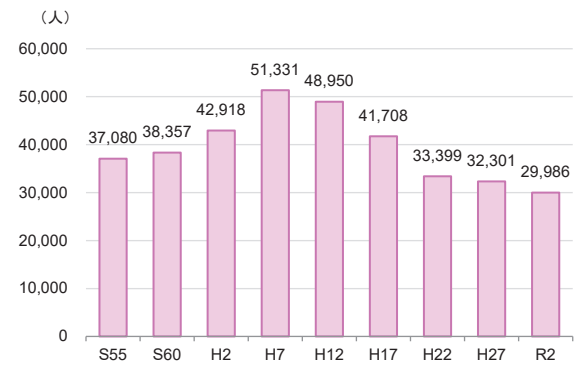
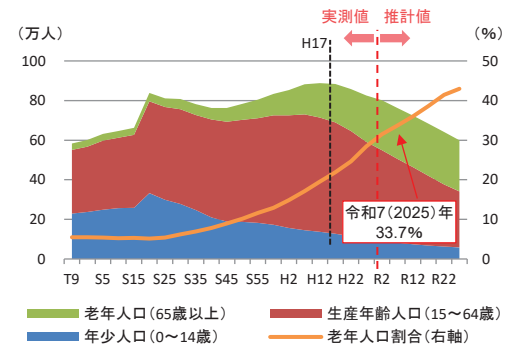
(4)人口・都市





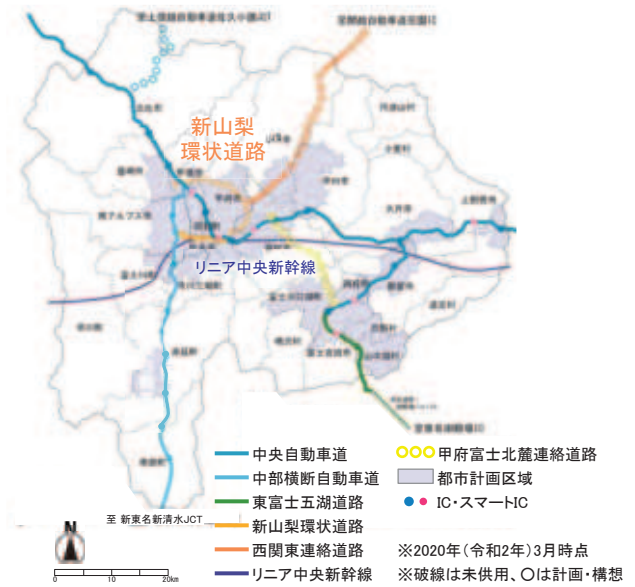
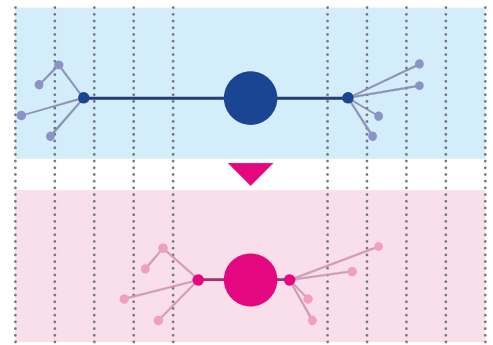
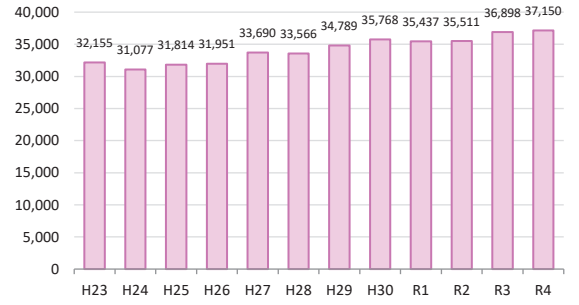
2 本県の現状と課題等

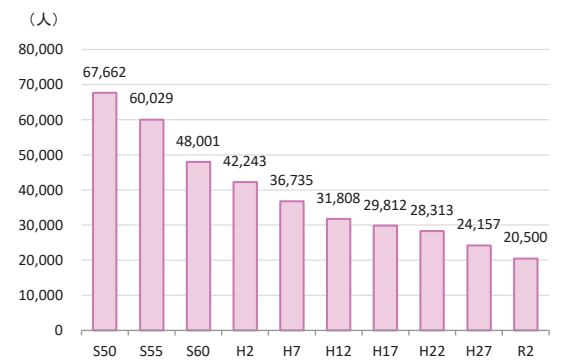
(1)人口減少危機



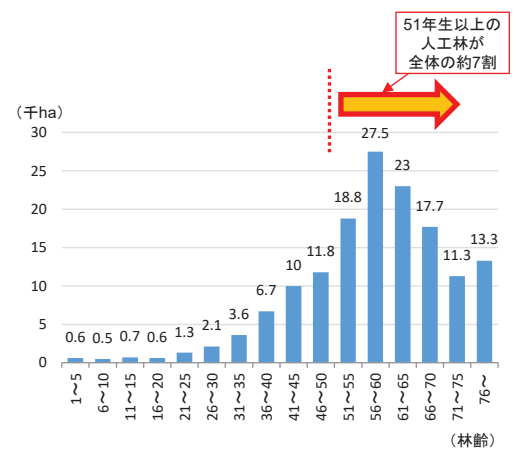


(2) 成長型経済への転換





※基幹的農業従事者数

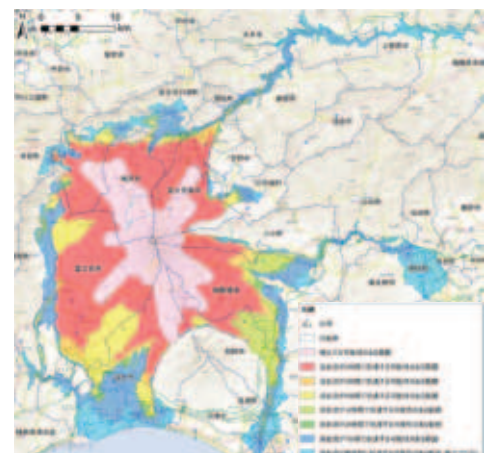
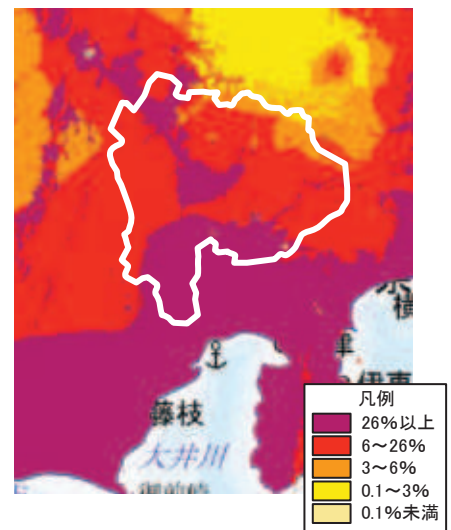




(3) 激甚化・頻発化する自然災害や巨大地震



(平均ケース・全地震)

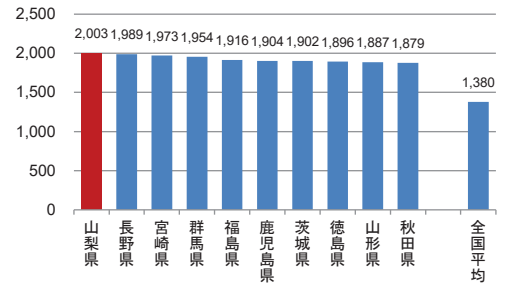




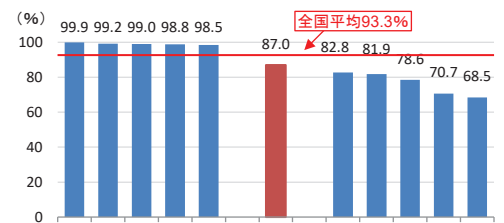
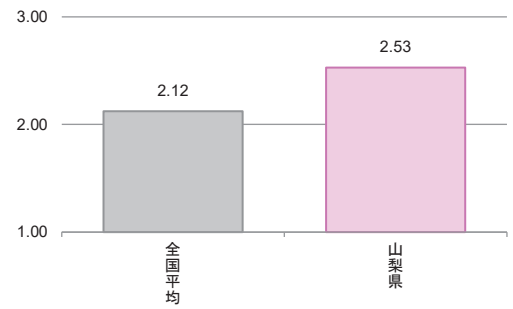
(4)生活環境の安全・安心の確保



(台/千人)

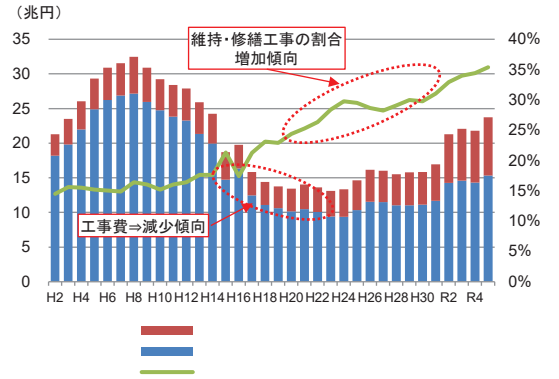


(件/千人・年)





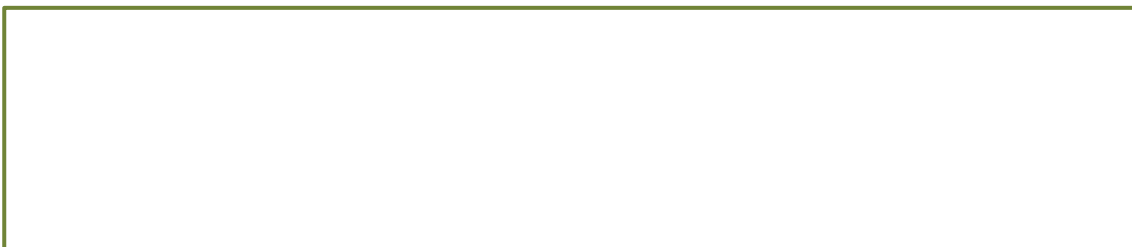
(5) 老朽化するインフラ







1 基本理念





社会資本整備から目指す県民一人ひとりのウェルビーイングの実現

活力があり快適で、安全安心なやまなしを未来へつなぐ





2 重点分野における「つの柱」及び将来像

1. 活力があり、人々の活動と地域の成長が「始まる」基盤づくり

活力があり、人々の活動と地域の成長が「始まる」基盤づくりの方向性



2. 県民の安全・安心を支え、生命・財産を「守る」基盤づくり

県民の安全・安心を支え、生命・財産を「守る」基盤づくりの方向性



3.まちをあるべき姿で未来へ「繋げる」基盤づくり

まちをあるべき姿で未来へ「繋げる」基盤づくりの方向性



4. 取組成果による将来像

社会全体の変化

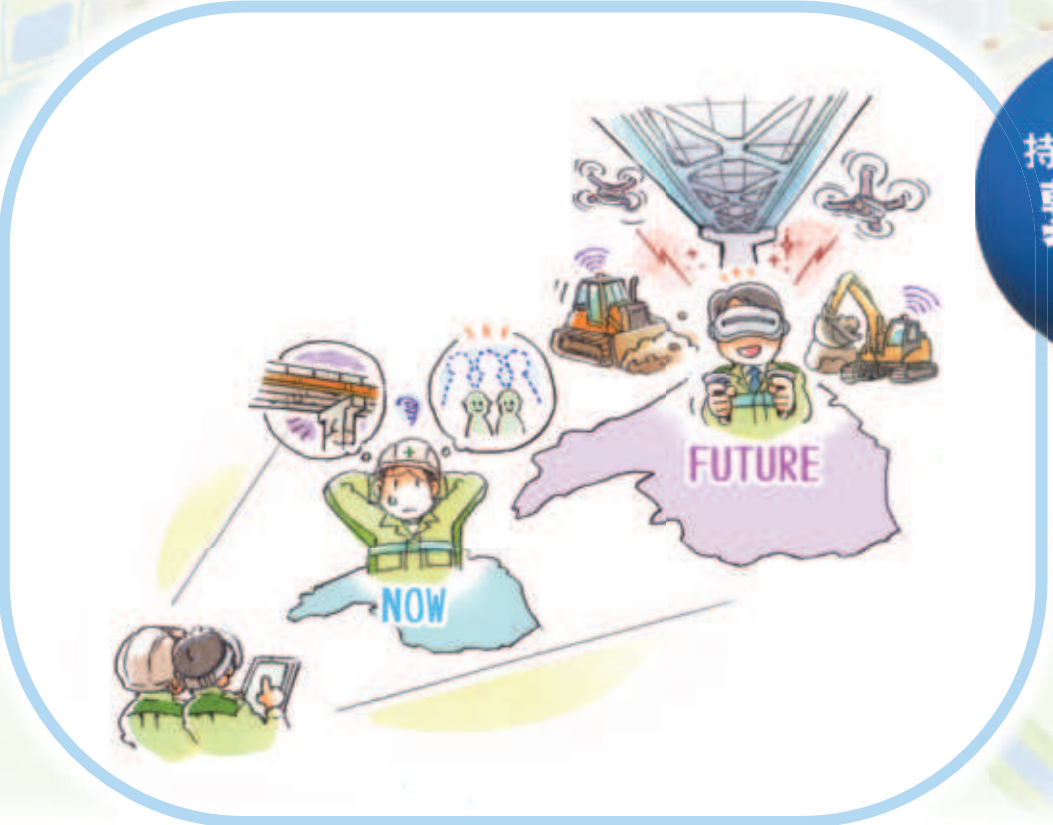
活力・成長

防災・減災

持続・スマート



活力・成長
始まる
山梨



持続・スマート
繋げる
山梨



防災・減災
守る
山梨





◇ 重点分野: 始まる山梨 [活力・成長]

- 1 リニア開業効果の県全域への波及
- 2 他圏域との連携強化
- 3 県内拠点間の連携強化
- 4 地域観光資源の利活用
- 5 活力ある市街地環境の創造
- 6 安全安心な生活環境の確保
- 7 効率的な森林の施業
- 8 農業競争力の強化

ふるさと
強靱化

社会資本整備から目指す! 県民一人

活力があり快適で、安全安心

活力・成長
始まる
山梨

社会資本
効率的に進め

持続・ス
繋げ
山

◇ 重点分野: 繋げる

- 1 持続可能な県土づくり
- 3 インフラ整備を支える基盤の強化



開の国 づくり

ひとりのウェルビーイングの実現

なやまなしを未来へつなぐ

防災・減災
守る
山梨

大整備を
するための施策

スマート
ぎる
山梨

山梨 【持続・スマート

- 2 将来像を踏まえたインフラの再構築
- 4 賢く持続可能なインフラの管理・運用

◇ 重点分野:守る山梨 【防災・減災】

- 1 流域治水の推進
- 2 土砂災害・山地災害からの生命・財産の保護
- 3 大規模地震からの生命・財産の保護
- 4 富士山噴火への備え
- 5 緊急時の救援活動を支える基盤づくり
- 6 災害時における道路ネットワークの強靱化
- 7 災害時における電力供給の確保
- 8 地域防災力の強化







主な取組

- ¥ リニア駅周辺の交通施設である1号線アクセス道路、メイン通り、北側交通広場、パークアンドライド駐車場の整備を推進します。
[指標] 1号線アクセス道路の完成
- ¥ リニア山梨県駅へのアクセス向上のため、事業中の甲府中央スマートIC(仮称)について、県は早期完成をNEXCO中日本に要望します。

主な事業

- ・(主)甲府中央右左口線 1号線アクセス道路改築 甲府市大津町
- ・(主)甲府中央右左口線 メイン通り道路改築 甲府市大津町
- ・甲府中央スマートIC(仮称)整備 甲府市大津町 (中日本高速道路(株)事業)

主な取組

- ¥ リニア駅南北における施設整備の一体的な推進を視野に入れつつ、機能性及び利便性の向上はもとより「新たな山梨の玄関口」として、山梨らしい独自性と価値を備えた都市空間の創出に向け、まちづくりの主体となる甲府市をはじめ、関係機関と緊密に連携、協働して基盤整備を進めていきます。



■ リニア駅周辺整備の概要



主な取組

- ¥ リニア駅周辺エリアに直結する東部区間の整備を推進します。
[指標] 東部区間の全線開通
- ¥ 落合西ICから東油川ICまでの区間を先行して供用します。
- ¥ 北部区間について、県は沿線自治体などとともに、国土交通省に事業中区間の整備促進及び未事業区間の早期事業化、有料道路制度の活用を要望します。

主な事業

- ・国道140号 新山梨環状道路東部区間Ⅱ期整備
甲府市落合町～笛吹市石和町広瀬
- ・国道20号 新山梨環状道路北部区間整備
笛吹市石和町広瀬～甲斐市宇津谷（国事業）



■ 新山梨環状道路 路線図



■ 新山梨環状道路 東部区間Ⅱ期(整備中)

主な取組

- ¥ リニア駅アクセスの向上のため、新山梨環状道路及び高速道路の各インターチェンジへのアクセス道路の整備を推進します。
- ¥ 主要駅である甲府駅とリニア駅とを結ぶ、国道358号の整備を推進します。
[指標] リニア駅へのアクセス道路の今後5年間における整備延長 R7年度 → R12年度 2.9km

主な事業

- ・国道358号 遠光寺北交差点道路改築 甲府市伊勢
- ・(一)天神平甲府線（仮称）塚原ICアクセスバイパス整備
甲府市緑が丘～塚原
- ・(都)新環状・緑が丘アクセス線整備 甲府市緑が丘



■ 国道358号 遠光寺北交差点の渋滞(伊勢小前)



主な取組

- ¥ 中部横断自動車道の山梨・長野間の全線開通に向け、未整備区間である長坂～八千穂間について、県は環境影響評価及び都市計画の手続きを確実に進めるとともに、早期事業化が図られるよう国土交通省に要望します。
- ¥ 高速道路の暫定2車線区間について、県は沿線自治体などとともに、NEXCO中日本などに4車線化の早期事業化を要望します。
- ¥ 高速道路と接続する事業中のスマートICについて、県は整備を促進するとともに、新たなスマートICの整備検討を進めます。

主な事業

- ・中央自動車道渋滞対策 東京都～山梨県（中日本高速道路(株)事業）
- ・中部横断自動車道(長坂～八千穂)整備 北杜市長坂町～長野県南佐久郡八千穂町（国事業）



■ 山梨県の高規格道路ネットワーク図



■ 中部横断自動車道(長坂～八千穂) 環境影響評価準備書及び都市計画案説明会



■ 中央自動車道 談合坂スマートIC



主な取組

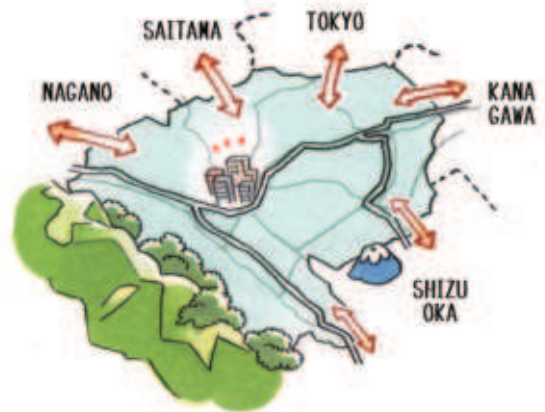
- ¥ 道路ネットワークの機能強化や多重性・代替性を備えた道路ネットワークの整備を推進します。
 [指標] 広域的な幹線道路の寸断に備えたリダンダンシーを有する道路網の今後5年間における整備延長
 R7年度 → R12年度 14.0km

主な事業

- ・国道140号 新山梨環状道路東部区間Ⅱ期整備 甲府市落合町～笛吹市石和町広瀬
- ・国道139号 上和田バイパス整備 大月市七保町瀬戸上和田
- ・国道300号 中之倉バイパスⅡ期道路改築 南巨摩郡身延町中之倉



■ 国道139号 上和田バイパス 供用区間



■ 国道300号 中之倉バイパス 供用区間



主な取組

¥ 県内拠点間を結び、利便性・アクセス性の向上を図るため、主要幹線道路などの整備を推進します。

[指標] 道路ネットワークに資する路線の今後5年間における整備延長

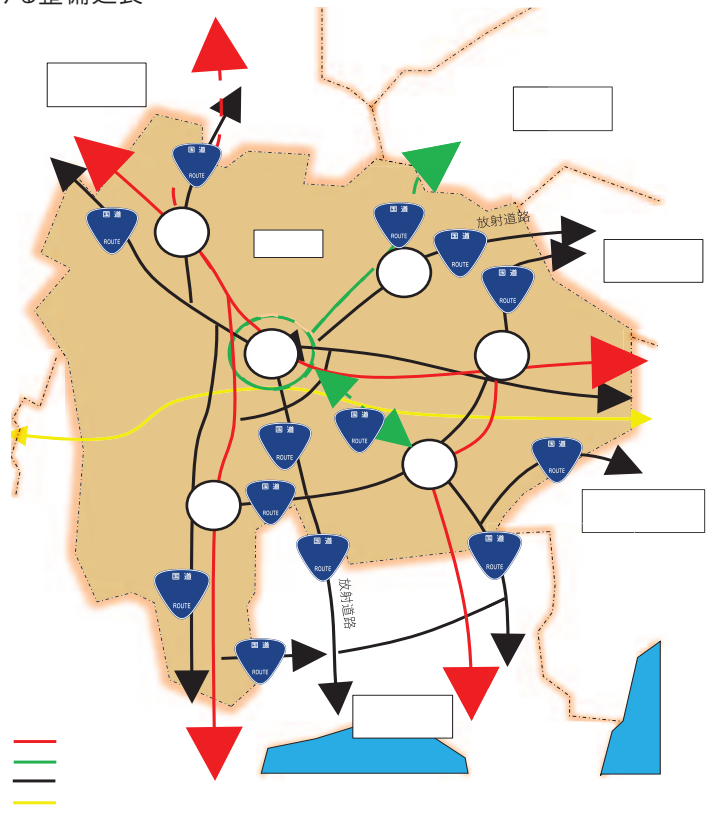
R7年度 → R12年度 21.2km

主な事業

- ・国道140号 新山梨環状道路東部区間Ⅱ期整備 甲府市落合町～笛吹市石和町広瀬
- ・(主) 韮崎昇仙峡線 宮久保道路改築 韮崎市穂坂町
- ・(都) 田富町敷島線整備 甲斐市西八幡～富竹新田
- ・(都) 山梨市駅南線整備 山梨市上神内川



■ 新山梨環状道路 東部区間
西下条ランプ～落合西IC



■ 県内幹線道路網

主な取組

¥ 県内拠点間を結び、利便性・アクセス性の向上を図るため、東部区間の整備を推進します。(再掲)

[指標] 東部区間の全線開通

¥ 北部区間について、県は沿線自治体などとともに、国土交通省に事業中区間の整備促進及び未事業区間の早期事業化、有料道路制度の活用を要望します。(再掲)

主な事業

- ・国道140号 新山梨環状道路東部区間Ⅱ期整備 甲府市落合町～笛吹市石和町広瀬
- ・国道20号 新山梨環状道路北部区間整備 笛吹市石和町広瀬～甲斐市宇津谷 (国事業)



主な取組

- ¥ 県内拠点間を結び、利便性・アクセス性の向上を図るため、主要幹線道路などの整備を推進します。(再掲)
 [指標] 道路ネットワークに資する路線の今後5年間における整備延長 R7年度 → R12年度 21.2km

主な事業

- ・国道140号 新山梨環状道路東部区間Ⅱ期整備
甲府市落合町～笛吹市石和町広瀬
- ・(一)横手日野春停車場線 駒城橋架替
北杜市武川町柳沢～白州町横手
- ・(主)甲府山梨線 八幡バイパスⅡ期整備 山梨市八幡
- ・(都)新環状・緑が丘アクセス線整備 甲府市緑が丘
- ・(都)田富町敷島線整備 甲斐市西八幡～富竹新田



■ (一)横手日野春停車場線 駒城橋架替

主な取組

- ¥ 人口集中地区の都市計画道路の整備を優先的に
 行い、市街地の渋滞緩和、歩行者・自転車の安全性及び
 生活利便性の向上を図り、快適な市街地環境の創造を
 推進します。

[指標] 街路整備率(事業化路線)

R7年度 21% → R12年度 46%

主な事業

- ・(都)和戸町竜王線整備 甲府市城東～中央5丁目
- ・(都)新環状・緑が丘アクセス線整備 甲府市緑が丘
- ・(都)田富町敷島線整備 甲斐市西八幡～富竹新田



■ (都)田富町敷島線 真福寺交差点



主な取組

- ¥ 市街地の交通分散を図る新山梨環状道路の整備を推進します。
- ¥ 円滑な交通の確保と沿線環境の改善を図るため、バイパス整備、現道拡幅、交差点改良等を推進します。
[指標] 渋滞箇所の今後5年間における対策箇所数 R7年度 → R12年度 22箇所

主な事業

- ・国道358号 遠光寺北交差点道路改築 甲府市伊勢
- ・(主) 蘆崎南アルプス中央線 田富東ランプ交差点道路改築 中央市布施
- ・(一) 富士吉田西桂都留線 上暮地バイパス整備 富士吉田市上暮地～南都留郡西桂町小沼
- ・(都) 田富町敷島線整備 甲斐市西八幡～富竹新田



■ (主) 蘆崎南アルプス中央線 田富東ランプ交差点渋滞



■ 国道140号 中道橋南詰交差点渋滞



主な取組

- ¥ 県内拠点間を結び、利便性・アクセス性の向上を図るため、主要幹線道路などの整備を推進します。(再掲)
[指標] 道路ネットワークに資する路線の今後5年間における整備延長 R7年度 → R12年度 21.2km

主な事業

- ・国道411号 一之瀬高橋改築Ⅱ期バイパス整備
甲州市塩山一之瀬高橋
- ・(一)富士吉田西桂都留線 上暮地バイパス整備
富士吉田市上暮地～南都留郡西桂町小沼
- ・(都)田富町敷島線整備 甲斐市西八幡～富竹新田
- ・(都)山梨市駅南線整備 山梨市上神内川



■ 国道411号 一之瀬高橋バイパス 整備中のトンネル

主な取組

- ¥ 市街地の交通分散を図る新山梨環状道路の整備を推進します。(再掲)
- ¥ 円滑な交通の確保と沿線環境の改善を図るため、バイパス整備、現道拡幅、交差点改良等を推進します。(再掲)
[指標] 渋滞箇所の今後5年間における対策箇所数 R7年度 → R12年度 22箇所

主な事業

- ・国道358号 遠光寺北交差点道路改築 甲府市伊勢
- ・(主)韮崎南アルプス中央線 田富東ランプ交差点道路改築
中央市布施
- ・(一)富士吉田西桂都留線 上暮地バイパス整備
富士吉田市上暮地～南都留郡西桂町小沼
- ・(都)田富町敷島線整備 甲斐市西八幡～富竹新田



■ 国道358号 遠光寺北交差点の渋滞



主な取組

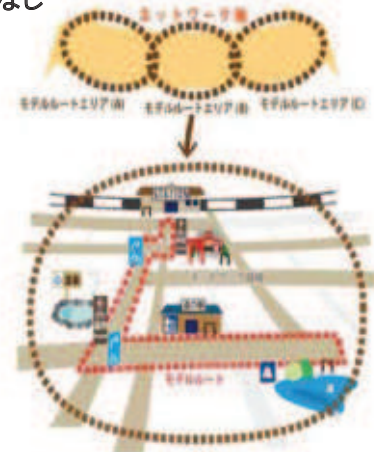
- ¥ 「サイクル王国やまなし」を実現するため、安全で快適に走行できる自転車走行環境を整備します。
 [指標] 矢羽根の今後5年間における整備延長 R7年度 → R12年度 25km
- ¥ フジイチをはじめとしたサイクルツーリズム(モデルルート等)の情報発信を推進します。



■ フジイチサイクリングマップ

コラム サイクル王国やまなし

サイクル王国やまなしは、山梨県が自転車活用を通じて観光振興・地域活性化・健康づくりを進める取組です。県内に広域サイクリングネットワークやモデルルートを整備し、誰もが安全で快適に走れる環境の実現を目指しています。



主な取組

- ¥ ポータルサイト「富士の国やまなしインフラガイド」及びInstagram「県土やまなし未来づくり」を通じてインフラ施設の魅力等を広く一般の方にPRします。
- ¥ InstagramなどのSNSやポータルサイトを活用し、インフラ施設の魅力を効果的に発信し、新たな観光資源としてインフラツーリズムを推進します。



■ ポータルサイト「富士の国やまなしインフラガイド」



■ Instagram「県土やまなし未来づくり【公式】」



主な取組

- 人口集中地区の都市計画道路の整備を優先的に行い、市街地の渋滞緩和、歩行者・自転車の安全性及び生活利便性の向上を図り、快適な市街地環境の創造を推進します。(再掲)

[指標] 街路整備率(事業化路線)

R7年度 21% → R12年度 46%

主な事業

- ・(都)和戸町竜王線整備 甲府市城東～中央5丁目
- ・(都)新環状・緑が丘アクセス線整備 甲府市緑が丘
- ・(都)田富町敷島線整備 甲斐市西八幡～富竹新田

主な取組

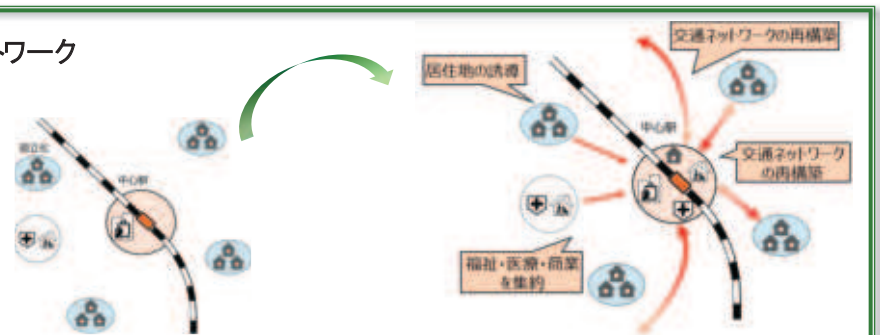
- 人口減少や高齢者の増加が見込まれる中で、持続可能な都市機能を確保するためには、住民が医療や福祉、商業などの生活サービス機能に容易にアクセスできるようなコンパクトなまちづくりを進めることが必要であることから、都市計画区域を有する市町村が居住や生活サービス機能を計画的に誘導する方針を示す「立地適正化計画」を作成するよう指導・助言を行います。
- 山梨県都市計画マスタープランの改定において、市町村のコンパクトなまちづくり計画を支援できるような都市構造を検討します。
- 山梨県都市計画マスタープランに即したまちづくりが推進されるよう、市町村が定める各種まちづくり計画に対する指導・助言を行います。
- 県内拠点間を結び、利便性・アクセス性の向上を図るため、主要幹線道路などの整備を推進します。(再掲)
[指標] 道路ネットワークに資する路線の今後5年間における整備延長 R7年度 → R12年度 21.2km

主な事業

- ・国道140号 新山梨環状道路東部区間Ⅱ期整備 甲府市落合町～笛吹市石和町広瀬
- ・(一)富士吉田西桂都留線 上暮地バイパス整備 富士吉田市上暮地～南都留郡西桂町小沼
- ・(都)田富町敷島線整備 甲斐市西八幡～富竹新田
- ・(都)山梨市駅南線整備 山梨市上神内川

コラム コンパクト・プラス・ネットワーク

コンパクト・プラス・ネットワークは、人口減少時代に対応した都市づくりの考え方で、生活サービスを集約した拠点を形成し、それらを公共交通で結ぶことで、移動しやすく持続可能な都市構造を実現する取組です。





主な取組

- ¥ 「サイクル王国やまなし」を実現するため、安全で快適に走行できる自転車走行環境を整備します。(再掲)

[指標] 矢羽根の今後5年間における整備延長
R7年度 → R12年度 25km
- ¥ 人口集中地区の都市計画道路の整備を優先的に行い、市街地の渋滞緩和、歩行者・自転車の安全性及び生活利便性の向上を図り、快適な市街地環境の創造を推進します。(再掲)

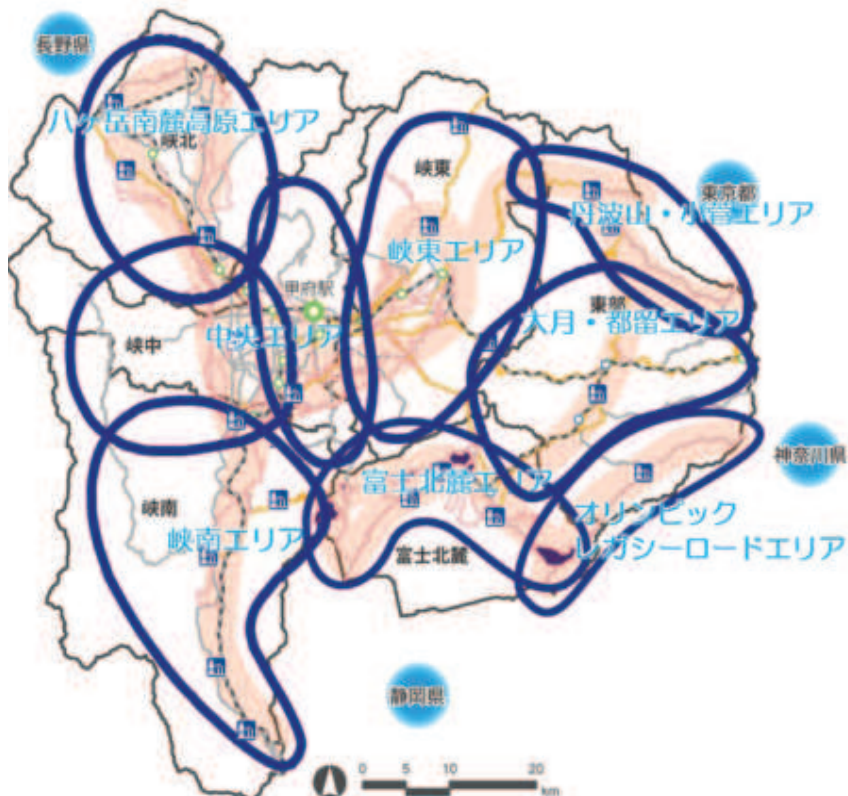
[指標] 街路整備率(事業化路線)
R7年度 21% → R12年度 46%



■ 自転車通行空間 矢羽根型路面標示

主な事業

- ・(都)和戸町竜王線整備 甲府市城東～中央5丁目
- ・(都)新環状・緑が丘アクセス線整備 甲府市緑が丘
- ・(都)田富町敷島線整備 甲斐市西八幡～富竹新田



■ やまなし自転車ネットワーク モデルルートエリア



主な取組

- ¥ 人口集中地区の都市計画道路の整備を優先的に行い、市街地の渋滞緩和、歩行者・自転車の安全性及び生活利便性の向上を図り、快適な市街地環境の創造を推進します。(再掲)

[指標] 街路整備率(事業化路線) R7年度 21% → R12年度 46%
- ¥ 良質で活力のある都市空間と災害に強い市街地の形成を図るため、密集した市街地や低未利用地において、公共施設の整備改善や宅地の利用増進を行う「土地区画整理事業」及び土地利用の共同化や高度化等を行う「市街地再開発事業」への補助を行います。
- ¥ 甲府城周辺地域の魅力を向上させ、訪れる人を増やし、賑わいの創出につなげるため、県と甲府市が共同で策定した甲府城周辺地域活性化実施計画に基づき、甲府城跡保存活用計画及び整備基本計画と整合を図りながら公園の整備を進めます。
- ¥ まちなかウォークアブルを推進するため、都市公園(街区公園)のリノベーションを実施し、公園利用者のニーズを反映した身近な公園として人々が集い、憩い、交流できる広場空間の構築を図ります。

[指標] 都市公園(街区公園)の今後5年間におけるリノベーション数
R7年度 → R12年度 2箇所

主な事業

- ・(都)和戸町竜王線整備 甲府市城東～中央5丁目
- ・(都)田富町敷島線整備 甲斐市西八幡～富竹新田
- ・舞鶴城公園 甲府城(仮称:南側公園)整備 甲府市丸の内
- ・中央公園・丸の内公園リノベーション 甲府市中央・丸の内

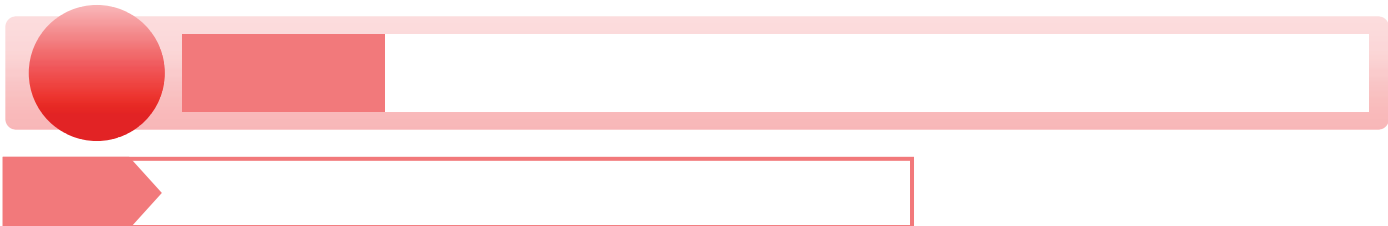


■ 都市公園(街区公園)のリニューアルイメージ



出典:山梨県・甲府市「甲府城周辺地域活性化実施計画」

■ 甲府城周辺地域の整備箇所と整備イメージ



主な取組

- ¥ 道路植栽の健全な生育及び緑化機能の維持向上や道路利用者等の安全性を確保するため、適切な管理を実施します。また、市街地の緑被率を確保するため、道路植栽を適切に維持します。
- ¥ 都市における良好な公共空間を形成するため、都市計画道路の整備に併せて植樹帯を設置していきます。
- ¥ 公園植栽の健全な生育及び緑化機能の維持向上や公園利用者等の安全性を確保するため、適切な管理を実施します。



■ 平和通りの街路樹

コラム グリーンインフラ

グリーンインフラは、自然の持つ浸水緩和・気候緩和・生態系保全などの機能を活用し、まちづくりや防災に活かす取組です。公園や森林、河川・湿地などをインフラとして活用し、環境と共生する社会づくりを目指します。



■ 生物の生息地



■ 暑熱対策



■ 雨水貯留浸透



主な取組

- ¥ 毎年実施される通学路合同点検により、対策が必要とされた箇所について、速やかに安全対策を講じます。
- ¥ 歩道設置や防護柵の設置等による安心・安全な歩行空間の確保を推進します。



主な事業

- ・(主)甲府中央右左口線 中小河原工区歩道設置 甲府市中小河原
- ・(主)甲府精進湖線 中小河原工区歩道設置 甲府市中小河原
- ・(一)甲斐岩間停車場西嶋線 岩間工区歩道フラット化
西八代郡市川三郷町岩間



■ 通学路合同点検



■ 車道への飛び出し防止対策

主な取組

- ¥ 「サイクル王国やまなし」を実現するため、安全で快適に走行できる自転車走行環境を整備します。(再掲)
[指標] 矢羽根の今後5年間における整備延長 R7年度 → R12年度 25km
- ¥ 人口集中地区の都市計画道路の整備を優先的に行い、市街地の渋滞緩和、歩行者・自転車の安全性及び生活利便性の向上を図り、快適な市街地環境の創造を推進します。(再掲)
[指標] 街路整備率(事業化路線) R7年度 21% → R12年度 46%

主な事業

- ・(都)和戸町竜王線整備 甲府市城東～中央5丁目
- ・(都)新環状・緑が丘アクセス線整備 甲府市緑が丘
- ・(都)田富町敷島線整備 甲斐市西八幡～富竹新田



主な取組

¥ 歩道の設置にあたって、誰もが使いやすいようにユニバーサルデザインの考え方を取り入れ、歩道のバリアフリー化を進めていきます。



■ フラット化された歩道

主な事業

- ・(主)甲府南アルプス線 上今諏訪工区歩道設置 南アルプス市上今諏訪
- ・国道139号 中曽根無電柱化 富士吉田市中曽根
- ・(都)田富町敷島線整備 甲斐市西八幡～富竹新田



主な取組

¥ 公園施設の更新にあたっては、こどもや子育て世代の目線に配慮して計画を行います。



■ 家族連れで賑わう公園



■ 新しい安全な遊具



主な取組

¥ 将来の人口減少を見据え、経済性、地域性及び事業の特性等を考慮した上で実施事業を選択することにより、計画的かつ効率的な施設整備を推進します。また、生活排水処理施設が整備された人口の割合である「生活排水クリーン処理率」を数値目標に、事業を推進します。

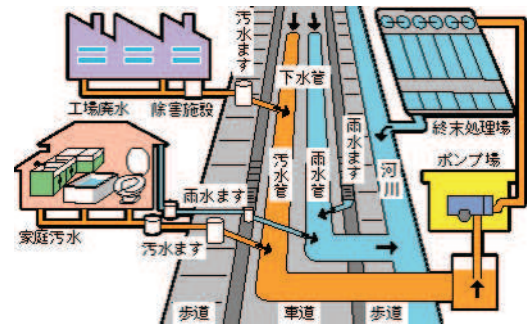
[指標] 生活排水クリーン処理率 R6年度 87.6% → R12年度 90.8%

¥ 下水道計画区域外等で浄化槽を設置しようとする者に設置費用を助成している市町村に対し補助を行います。

¥ 県が実施する流域下水道事業に対しては、機能確保を目的とした整備を行い、市町村が実施する公共下水道及び上水道事業に対しては、上下水道事業に要求される技術水準及び施設水準が年々高くなっていることを踏まえ、より安定した上下水道事業が進められるよう、指導監督の一層の充実を図ります。

主な事業

- ・ 峡東ネットワーク幹線 管渠敷設 山梨市万力
- ・ 浄化槽設置整備事業費補助金



■ 下水道施設の構成イメージ



■ 浄化槽による生活排水処理のイメージ



主な取組

¥ 森林施業の効率化を図り、森林資源の循環利用と確実な再造林、適切な森林整備を推進するため、トラック等が走行する林道、林業用車両が走行する林業専用道、高性能林業機械等が走行する森林作業道を組み合わせた林内路網の整備を推進します。

[指標] 林内路網の整備延長 R7年度 4,913km → R12年度 5,138km

主な事業

- ・林道 足馴峠線開設 南巨摩郡富士川町小室～南巨摩郡富士川町平林
- ・林道 盛里王の入線開設 都留市朝日曾雌～上野原市秋山
- ・林業専用道 小字沢2号支線開設 韮崎市神山町



■ 林道及び林業専用道の開設



■ 林道及び森林作業道を活用した木材生産

コラム 林内路網

林内路網は、森林内で木材生産や間伐などの森林整備を効率的に行うための基盤となる施設です。用途や通行する車両に応じて、林道・林業専用道・森林作業道を組み合わせて整備しています。また、観光スポットへのアクセス向上による観光振興、災害時の避難路や代替輸送路としての利用、林野火災発生時の消火活動への活用など、多様な役割も担っています。

<p>林道:一般車両の走行も想定し安全施設を備えた道</p> 	<p>林業専用道:大型の林業用車両の走行を想定した必要最小限の構造の道</p> 	<p>森林作業道:フォワーダ等の林業機械の走行を想定した森林施業用の道</p> 
---	--	--



出典: 林野庁「森林・林業・木材産業の現状と課題」



主な取組

- ¥ 県産農産物の高品質化や生産性の向上、農家所得の向上を図るため、区画整理や農業用排水路、農道等の基盤整備を着実に推進します。
- ¥ 市町村により策定された将来の農業や農地利用の在り方を明確化した地域計画の実現に向けて、新規就農者への生産性の高い農地の提供や、多様な担い手への農地集積・集約化を促進するための基盤整備を推進します。
- ¥ 生産条件の改善により収量の増加や品質向上が図られ、ブランド化や輸出拡大、収益の向上につなげるための基盤整備を推進します。
- ¥ 地域の合意形成を図り、日本一の桃の産地の持続的発展や、醸造用ぶどうの産地形成等に向けた果樹産地の基盤整備を推進します。
- ¥ 中山間地域などの農作業の効率化・省力化を図るための基盤整備を推進します。
 [指標] 果樹産地等における基盤整備面積 R7年度 5,003ha → R12年度 5,500ha

主な事業

- ・畑地帯総合整備 みさか桃源の郷地区 区画整理、農道、用排水路 笛吹市御坂町尾山ほか
- ・中山間地域総合整備 都留西部地区 区画整理、農道、用排水路 都留市夏狩ほか
- ・農地環境整備 南アルプス西部地区 区画整理、農道、用排水路 南アルプス市中野ほか
- ・経営体育成基盤整備 ゆずの郷地区 区画整理、農道、用排水路 南巨摩郡富士川町小室ほか
- ・農村地域活性化農道整備 大泉地区 農道整備 北杜市大泉町西井出ほか



■ 農地の区画整理



■ 農業用排水路整備



■ 畑地かんがい施設整備



■ 農道整備



コラム 新山梨環状道路 東部区間

新山梨環状道路 東部区間Ⅰ期(延長1.6km 西下条ランプ～落合西IC)は、令和4年11月に開通し、渋滞解消等の様々な整備効果が発現されています。

東部区間Ⅱ期(延長5.5km 落合西IC～広瀬IC)についても、早期の開通を目指し、引き続き整備を進めていきます。

概要

令和4年11月19日 延長1.6km 開通

位置図

標準断面図

所要時間の短縮

西下条町中交差点～落合西IC間における所要時間および旅行時間の比較

開通前	開通後	開通後
20分	12分	12分
令和4年10月	令和5年2月	令和5年9月

旅行速度の改善

開通前	開通後	開通後
21km/h	29km/h	29km/h
令和4年10月	令和5年2月	令和5年9月

苗南中北1交差点状況

区道140号 苗南方面交通量	区道140号 苗南方面渋滞量	区道356号 苗南方面折交流量
開通前: 6000	開通前: 800	開通前: 2500
開通後: 4200	開通後: 100	開通後: 1300
開通後: 4400	開通後: 100	開通後: 1200
令和4年10月	令和4年10月	令和4年10月
令和5年2月	令和5年2月	令和5年2月
令和5年9月	令和5年9月	令和5年9月

利用者の方の声

通勤面

- アイメッセ山梨前から区道358号(平和通り)に出る際の渋滞が解消され、通勤時間の短縮が図られた。
- これまでアイメッセ山梨付近での渋滞が激しかったため時間を詰めず、就業時間に間に合わない従業員がいたが、このようなことが無くなった。

物流面

- 甲府市落合町と釜無川工業団地(中巨摩郡昭和町)にある工場との往復が1日に数回あるが、1回当たり10分程度の短縮ができ、1日あたりでは相当の時間短縮が可能となった。
- 中央自動車道甲府南ICへのアクセスが向上した。

生活面

- 小瀬スポーツ公園へ行きやすくなった。
- 南アルプス方面から苗吹市方面に対して生活の幅が広がったと感じる。
- 開通により、渋滞を避けるためのルート選択の幅が広がった。
- 移動における定時性が確保できるようになった。

■ 新山梨環状道路 東部区間Ⅱ期(整備中)